

# 春期フランス研修

プログラム区分	語学研修
主幹部署	フランス語学科
研修先国・地域名	フランス・アンジェ
研修先	アンジェ西部カトリック大学
プログラム概要	<p>2023年度の春期フランス研修は、フランス東部ロワール地方に位置する協定校アンジェ西部カトリック大学にて実施されました。ロワール地方は、フランス・ルネサンスの発祥の地であり、パリやノルマンディー地方にアクセスしやすい土地です。そのため週末には、有名なロワール古城を見学したり、日帰りでモン・サンミッシェルを訪れたりすることもできます。アンジェを拠点とすれば、文化研修を通じてヨーロッパの文化に触れることができます。アンジェ西部カトリック大学は、フランス語の教育機関として定評があり、ヨーロッパの共通言語基準（CEFR）に基づいたフランス語教育を行っています。経験豊富なネイティブ教員から、レベル分けされたクラスで自分の力にあったフランス語教育が受けられます。午前は文法・発音などの授業を行い、午後は音楽やグルメを取り入れた特別授業や市内散策が準備されています。研修中の宿泊形態はホームステイです。フランスの素朴な家庭料理を味わい、私たちの生活とは異なる習慣を発見できることでしょう。家族とフランス語で会話しながら、異文化交流を深めていって下さい。</p>
日程	出発予定時期：2025年1月下旬 期間：4週間
単位認定	海外研修ⅡA、海外研修ⅡB（4単位）
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科
語学研修の有無	有
語学研修以外の内容	無
問い合わせ先	フランス語学科
その他	



# 体験記

## 春期フランス研修に参加して

氏名：仲川 諒（2023 年度参加）

本文：

この春期フランス研修は、私にとって初の海外渡航でもあったため最初は文化の違いに驚かされる事が多く、日本を恋しく思う時もあったが次第に身に馴染んでいき、研修が終わりに近付くにつれて「日本に帰りたくない」という気持ちが強くなった。

パリで見た景色には日本では絶対に見られない美しさがあり、写真で見るとは何倍も違ったため終始圧倒されていた。アンジェでの生活もとても楽しく、大学の授業はどれもユニークで一度も退屈を感じる事が無かったし、放課後は友達と中心街でショッピングなどを満喫した。ホストファミリーはとてもお喋りで日本が大好きな人だったので話題が尽きず、食事の際に「いただきます」と「ごちそうさま」を一緒に言ったりした。入居当初は翻訳ツールに頼ってばかりだったが、毎日私がフランス語を話す時に急かすこと無く聞いて会話を重ねてくれる姿勢に支えられ、終盤ではほぼ翻訳に頼ることがなくなり、自分の力でコミュニケーションが取れることに感動を覚えた。

私はこの研修にサクソを持ち込み、パリでサクソの店を訪問したり、アンジェでは練習場所を自分で見つけて演奏したりしていた。その結果、そこから音楽を通じて多くの人々と言葉を交わす機会が増え、コミュニケーションの幅が大きく広がった。非常に貴重な経験を得たと思う。

初めこそ1ヶ月と聞いた時には、色々な事が出来るように思えた。しかしいざ経験してみると意外に短く、いくつか達成できなかった目標もあった。だからこそ、この研修に参加したらフランスの素晴らしさを体感するだけでなく、どんなに些細なことであっても自分にしか出来ないことを是非積極的に実践してみたい。

